

平成23年6月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 渡 辺 正 宏

市 民 ク ラ ブ 渡 辺 良 雄

希 望 小 野 寺 誠

共 産 党 佐 藤 広 久

フ ォ ー ラ ム 2 1 伊 藤 巧 一

護 憲 ・ わ ん ぱ く の 会 倉 田 芳 浩

秋 水 会 今 川 雄 策

秋 水 会 工 藤 四 郎

1 市長の政治姿勢について

(1) 市長が持っている本市に対する夢について

2 機構改正について

(1) 企画財政部について

ア 従来の組織ではどのような弊害があったのか

イ 機構改正により、企画調整課と財政課における業務連携は従来とどのような違いがあり、どのような効果があったのか

(2) 市民生活部について

ア 機構改正後、どのようなところで住民サービスが向上したと考えているのか、また、今後向上が見込まれるところは何か

3 災害について

(1) 本市の災害対応について

ア 職員は災害発生時に対応すべき業務内容を把握していると考えているのか、また、職員に対する指導は徹底されているのか

イ 避難所の開設や備蓄物資の搬出に明確な基準はあるのか

(2) 東日本大震災が地域経済に与える影響について

ア 本市経済の現状をどう把握し、具体的な支援策をどのように考えているのか

イ 観光業界においても客足が遠のくなどの影響が懸念されるが、対策についてどのように考えているのか

(3) 避難者に対する支援について

ア 避難者が自立できるような支援策は考えられないか

4 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化について

(1) 組織体系を含めた新大学のグランドデザインについて

(2) 地域のまちづくりとの連携について

(3) 4年制大学化に向けた進捗状況と今後の具体的なスケジュールについて

5 中通一丁目地区市街地再開発事業について

(1) 現時点における東日本大震災の影響による本市の負担増と対応について

(2) 社会資本整備総合交付金の5%削減が、今後の事業展開に与える影響と対応について

6 エネルギー省力化に対する取り組みについて

(1) 節電対策について

ア 削減目標20%の根拠と実現に向けた決意について

イ 市民や市内事業者への節電の協力をどのように進めていくのか

(2) 自然エネルギーの活用に対する取り組みについて

7 結婚支援について

(1) 結婚支援に関する現状と今後の取り組みについて

8 市立秋田総合病院における医療費の支払いについて

(1) 医療費のクレジットカード払いについて

1 市長の政治姿勢について

- (1) 新しい公共に対する市長の認識と本市としての対応について
- (2) T P P の交渉参加に対する市長の認識と全国市長会としての対応について
- (3) 東日本大震災への対応について
 - ア 本市の支援活動について
 - イ 避難者の受け入れと就労支援について
 - ウ 二次的被害も含めた市内経済の現状分析と企業等への支援策について
 - エ 庁舎や学校、病院を含めた公共施設等における節電対策の具体的な実施方法と市民及び市内事業者への対応について
 - オ 地域防災計画の見直しについて
 - カ 太平洋側の機能集積のリスク分散及び東北地方全体の復興を目指すとした県の要望に対する本市の対応について

2 県都『あきた』改革プランについて

- (1) 18年度から5年間にわたり取り組んできた第4次秋田市行政改革大綱をどう総括し、22年度末に未実施項目として残された課題にどのように取り組んでいくのか
- (2) 県都『あきた』改革プラン実施計画に掲げた126項目を実行した場合の財政面を含めた効果をどのように見込んでいるのか
- (3) 県都『あきた』改革プランを着実に推進するためにどのような体制を築くのか
- (4) 補助金の見直しについては、市民活動に十分配慮し市民理解を得ながら進める必要があると思うが、どのように推進していくのか
- (5) 受益と負担のあり方の適正化として、23年度に施設使用料等の見直しの準備手続を実施するとしているが、公共性の高いサービスについては慎重に検討すべきではないか

3 市民協働及び都市内地域分権について

(1) 市民協働について

ア 県都『あきた』改革プランに位置づけしている市民協働によるまちづくりについて、どのようにイメージしているのか、また、市民の役割として何を求めるのか

イ 町内会の実態調査をどのように整理し、指導育成に努めているのか、また、町内会への新たな支援策等を改革プランに位置づけているが、どのような方向で進めていくのか

ウ 防犯灯のＬＥＤ化について、手法、効果及び問題点はどうか、また、ＬＥＤ化工事の地元発注についてどのように考えているのか

(2) 都市内地域分権について

ア 都市内地域分権は、今後もこれまでの構想で進めていくのか

イ 開設された北部・河辺・雄和市民サービスセンターの分権に伴う権限と予算、職員数及び地域づくり組織の権限・役割について

ウ 地域センターの今後の方向性について

エ 北部公民館と北部市民サービスセンターの機能分担をどのように考えているのか、また、住民にはどのように周知を行っていくのか

4 環境行政について

(1) 地球温暖化対策等について

ア 財政負担を伴う環境行政をあえて成長戦略の一つに位置づけ「環境立市あきたの実現」と銘打った考え方とその取り組みについて

イ 本市における温室効果ガスの排出量の状況と震災による影響について

ウ 「あきたスマートシティ・プロジェクト」などをリーディングプロジェクトに位置づけている秋田市地球温暖化対策実行計画の目標達成に向けた進行管理について

(2) ごみ問題について

ア 家庭系ごみ有料化見送り後のごみ減量・分別説明会等の取り組み

について

イ 22年度における本市の家庭系ごみ排出量はどうか、また、国及び県の排出状況はどうか

ウ 家庭系ごみ有料化実施の判断について

5 農林業問題について

(1) 農林水産業・農村振興基本計画の数値目標達成に向けた決意とプロセス及び財政見込みはどうか、また、園芸振興センターの果たす役割と運営はどうか

(2) 果樹及び花卉の振興対策について

ア 本市の果樹振興について

イ 本市の花卉振興について

(3) 農地法改正に伴う対応について

ア 新規参入面積の見直しに至った経緯とその周知はどのように行うのか、また、農地法改正による新規参入の新たな動きはあったのか

イ 国の方向性との整合に向けた本市の考え方はどうか

(4) 秋田スギ大規模製材工場建設について

ア 建設事業費補助金を支出することになった経緯について

イ 同工場に良質な原木を大量に供給していくことになる本市の森林整備方針について

(5) クマの出没への対応について

6 地域の課題について

(1) 上新城中学校の活用策について

1 東日本大震災への対応と今後の取り組みについて

(1) 震災に対する本市の対応と自己評価について

(2) 今後の被災地支援について

(3) 震災による本市への影響と対策について

ア 本市財政への影響について

イ 観光関連業界及び中小企業への支援策について

ウ 震災後の雇用対策について

(4) 節電に向けた本市の対策と民間企業に対する働きかけについて

(5) 災害時における食品製造業への対応について

ア 燃料及び電力供給対策について

イ 緊急通行車両登録について

2 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化について

(1) 4年制大学化のスケジュールについて

(2) 財政シミュレートについて

(3) 4年制大学設置準備委員会の今後の役割について

3 大型観光企画とコンベンションへの取り組みについて

(1) 2013年秋に実施されるJRのデスティネーションキャンペーンに向けた取り組みについて

(2) 第29回国民文化祭に向けた取り組みについて

4 統一地方選挙の投票率について

(1) 低投票率の原因に対する認識について

(2) 投票率向上に向けた今後の取り組みについて

5 高齢者福祉について

(1) 特別養護老人ホーム入所待機者の解消策について

(2) 在宅介護サービスに関する適切な情報提供体制について

6 都市内地域分権について

(1) 市民サービスセンターへの権限移譲内容の見直しについて

(2) 東部・南部両市民サービスセンター開所に向けての課題及び地域との協議状況について

7 食品の衛生管理について

(1) 生食用食肉の検査体制と飲食店に対する衛生管理指導について

(2) 食品の衛生管理の徹底に向けた今後の対策について

8 地域の課題について

(1) スポパークかわべグラウンドゴルフ場の整備について

ア コース設定の見直し及び芝生の補修について

イ 日本グラウンド・ゴルフ協会の認定コースを目指した整備について

1 市長の政治姿勢について

(1) 住民の安全に責任を持つ長として「防災と福祉のまちづくり」を基本に市政運営すべきと思うかどうか

(2) 本市の危機管理体制について

ア 4月7日に地震が発生したときに登庁しなかった幹部がいたことは、市長の危機管理意識の低さの反映ではないか

イ 今後、本市の危機管理体制の強化を図るべきではないか

(3) エネルギー政策について

ア 原子力発電から撤退し、エネルギー政策の転換を国に求めるべきと思うかどうか

イ 本市として再生可能な自然エネルギーの積極的な活用を進めていくべきではないか

(4) 消費税増税問題について

ア 震災復興財源としても、あるいは、税と社会保障一体改革であっても消費税を増税すべきでないと考えるかどうか

(5) 中通一丁目地区市街地再開発事業について

ア 東日本大震災を機に、本事業を凍結・中止すべきではないか

2 災害に強いまちづくりについて

(1) 本市の地域防災について

ア 県の防災計画を待つのではなく、本市独自の被害想定情報などをつくり、市民へ周知するとともに、すぐにやれる防災対策を講じていくべきではないか

イ 地域住民の不安や要望を聞く機会をつくるべきではないか

ウ 災害が発生した際、住民に情報を知らせるため、防災無線などを計画的に整備すべきではないか

エ 災害時のライフライン確保のため、電気、水道等のバックアップ対策を図るべきではないか

(2) 災害時の避難所について

- ア 避難所における食料、飲料水、毛布、暖房機器などの整備及び備蓄状況は十分なのか
- イ 緊急避難のための一時避難所として、町内会館や市営住宅集会所などに集結した場合の情報伝達について
- ウ 高齢者、要介護者及び障がい者のため、福祉施設と災害時協定を結び、災害時福祉避難所として指定を進めるべきではないか

(3) 児童施設の防災対策について

- ア 児童館の耐震化を計画的に行うとともに、放課後児童クラブ施設の耐震化について、本市が支援すべきではないか

(4) 消防力の強化について

- ア 消防職員を計画的に増員し、消防力を高め、市民の安全を守る必要があると考えるがどうか

3 要介護認定について

- (1) 認定作業を円滑に進めるために、認定調査員を増員すべきではないか

4 学童保育について

- (1) 働きながら子育てができる環境をよくするために、保護者負担軽減に向けた放課後児童クラブへの支援を本市独自に行うべきではないか
- (2) 放課後児童クラブの新設や既存施設改修、移転する場合の費用に助成すべきではないか
- (3) 入所希望者からの本市への問い合わせに対し、定員や受け入れ状況、保育料などの情報を提供できるようにすべきではないか

1 防災について

(1) 防災協定について

ア 国の検討結果を踏まえ、どのような検討をしたのか

イ 東日本大震災において、どのような役割を果たすことができたのか

(2) 危機管理について

ア 本市沿岸に津波警報が発表された場合の対応について

イ 津波ハザードマップは作成しているのか

ウ 災害発生後の救援活動マニュアル等は作成しているのか

エ 備蓄している救援物資や災害時の飲料水・生活用水の供給は、どのくらいの被災者に対応できるのか

(3) 全国瞬時警報システム（J－A L E R T）の導入について

(4) 秋田市地域防災計画について

ア 4月7日の震度5強の地震発生時に、どのくらいの職員が登庁したのか

イ 今後、防災等に対する職員の意識をどのように向上させるのか

ウ 本市における被災時のボランティアの受け入れについて

(5) 本市からのボランティアの派遣について

(6) 放射能対策について

2 財政運営について

(1) 東日本大震災発生に伴う、国及び県からの交付金等の減額はあるのか

(2) 23年度予算において、多額の経費を要する大規模事業等が多くあるが、計画どおりの対応ができるのか

3 中通一丁目地区市街地再開発事業について

(1) 工事の進捗状況はどうか

- (2) 災害等で工期が延長された場合、工事費等はかかり増しとなるのか、また、かかり増しとなった場合、県、市、中通一丁目地区市街地再開発組合及び秋田まちづくり株式会社はそれぞれどのような対応をするのか
- (3) 準備組合、株式会社丹青社、株式会社丹青モールマネジメント及び秋田まちづくり株式会社による四者合意の内容に変更はないのか
- (4) 株式会社丹青社及び株式会社丹青モールマネジメントは、現時点でどのようなかかわり方をしているのか、また、今後の役割はどうなっているのか
- (5) 新たに検討されている共通駐車券システムにおける貯蓄性駐車場ポイントカードへの加盟店舗は、現時点でどのくらい確保されているのか、また、最終的な加盟店舗の見込みはどうか
- (6) 駐車場の指定管理者として、共通駐車券システムの事業主体となる事業協同組合の設立を目指しているが、中心市街地の駐車場業者との調整はどのように進んでいるのか

4 社会福祉法人の指導監査等について

- (1) 本市では、年間どのくらいの社会福祉法人の指導監査を行っているのか
- (2) 社会福祉法人の指導監査では、どのような問題等があり、どのような指導を行ったのか
- (3) 指導を受け入れない社会福祉法人はどのくらいあるのか
- (4) 社会福祉法人が施設の資金運用として、有価証券や現金先物取引等を行っている場合、適切な運用かどうかをどのように判断するのか、また、どのような指導を行うのか
- (5) 社会福祉法人における外部監査のメリット及びデメリットについて
- (6) 外部監査も行わず、会計等の税理士のチェックも行わない社会福祉法人に対しては、本市としてどのようなチェックを行うのか

5 耕作放棄地対策としてのマコモダケ栽培について

- (1) 収穫量及び販売実績はどうか
- (2) 特産作物として販売するに当たり、流通経路はどうなっているのか
- (3) 今後の展望及び意気込みはどうか

6 教育行政について

- (1) 種平小学校を初めとする雄和地域の学校の統廃合をどのように考えているのか
- (2) 雄和市民サービスセンターを利活用して小学校を併設することはできないのか

7 秋田市雄和火葬場について

- (1) 地域で存続が望まれている雄和火葬場の廃止は、都市内地域分権に矛盾しているのではないか

1 市長の政治姿勢について

(1) 首長として改選後の議会に望むことは何か

(2) 審議前の議案に対する認識について

ア 審議前の議案に係る事前行動は、議会軽視とならないよう慎重を期す必要があると思うがどうか

(3) 大阪府議会が可決した「君が代起立条例」に対する見解について

(4) 節電対策等について

ア 節電に対する認識について

イ 節電やごみ減量など市民に負担を強いることに対する市長からのメッセージについて

ウ 今後の電力事業のあり方に対する見解について

2 中通一丁目地区市街地再開発事業等について

(1) 本事業の完成予定時期について

(2) 東日本大震災の影響による本市の買い取り施設の価格変動について

(3) 東日本大震災の影響による建設資材の調達状況及び価格の見通しについて

(4) 本事業の費用便益比の再計算を行うべきでないか

(5) 現在の社会情勢を踏まえても、本事業でのにぎわい創出は可能と考えているのか

(6) 現在の県立美術館の建物の存続について、県と協議しているのか

3 生活困窮者に対する支援について

(1) 生活保護の該当にならない生活困窮者への対応について

ア 該当にならないケースについて

イ 相談後のフォローについて

4 ごみ減量に向けた教育の必要性について

- (1) ごみ減量の推進に当たっては、学校教育を通じた取り組みが必要と思うかどうか

5 小中学校のグラウンドの整備について

- (1) グラウンドの芝生化について

6 災害時における住民への情報伝達について

- (1) 市民サービスセンターなど地域に密着した公共施設において、災害時の情報を入手できるようにすべきと思うかどうか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 任期の折り返しを迎え、市政運営にどのような意気込みで取り組むのか
- (2) 泉・外旭川新駅（仮称）構想への市長の思いはどうか

2 降雪期の地震対策について

- (1) 本市の被害をどの程度と想定しているのか
- (2) 避難対策は検討しているのか
- (3) 避難訓練を実施する考えはないのか

3 家庭系ごみについて

- (1) 排出量の現状をどう認識しているのか
- (2) 減量に向けた今後の取り組みについて

4 子育て支援について

- (1) 23年度当初を目指していた保育所の待機児童解消の現状はどうか
- (2) 子ども・子育て新システムについて
 - ア 現在の制度とどのように違うのか
 - イ 本システムが導入された場合、本市の保育行政にどのような影響があるのか

5 教育行政について

- (1) 廃校となった学校施設の具体的な活用策をどのように考えているのか
- (2) 小学校でのフッ化物洗口事業について
 - ア 保護者に対する希望調査の結果はどうであったのか、また、その結果に対する認識はどうか
 - イ 実施率の向上に向けて、どのように取り組むのか

(3) 中学校教科書採択に当たり、本市ではどのような基準を設けているのか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 市長就任３年目を迎え、心境はどう変化したのか
- (2) 改選後の市議会に期待するものは何か、また、市議会に対するスタンスをどのように確立していくのか
- (3) 市長公約を実現する体制について
 - ア 副市長制度の趣旨を踏まえた体制になっているのか
 - イ 副市長と部局長の意思疎通は図られているのか、また、どのように信頼関係を構築しようとしているのか
 - ウ 部局長みずからが部局を担っていく気概はあるのか
 - エ 部局長に、責任及び権限をどのようにゆだねているのか

2 本市が目指すべき姿への道筋について

- (1) 県都『あきた』成長プラン、県都『あきた』改革プラン及び第６次秋田市総合都市計画について
 - ア 市長のどのような思いを計画に反映させたのか、また、責任を持って計画を実現するために、どのような決意で臨むのか
 - イ 地方財政の先行きが不透明な中で、各計画を実現するための財源の裏づけはあるのか
- (2) 緑あふれる新県都プランについて
 - ア これまでの進捗状況はどうか、また、前期計画を振り返り、市町合併の効果をどう評価しているのか
 - イ 今後も計画どおり進めることができるのか

3 観光振興について

- (1) 観光政策の現状について
 - ア これまでの観光政策にはどのような独自性があるのか
 - イ 各地域ごとに観光の目玉を設定し、発信方法を考えるべきではないか

(2) 東日本大震災による竿燈まつりへの影響について

ア 竿燈まつりへの影響は、どの程度と予測しているのか

イ 予測している影響への対応策はどうか

(3) 大森山動物園へのパンダの誘致について

ア 大森山動物園にパンダを誘致しようとする動きがあるが、市としてどのように考えているのか

4 企業誘致について

(1) これまでの企業誘致の課題について

(2) 今後の企業誘致の取り組みについて

(3) 東日本大震災で被災した企業を本市に誘致すべきと思うがどうか

5 雇用対策について

(1) これまでの雇用対策は、有効求人倍率の改善に寄与しているのか、また、雇用問題に一定のめどをつけることができるのか

(2) 頑張る地元企業に対し、新たな雇用対策を含めどのように支援していくのか

6 防災対策について

(1) 東日本大震災と同規模の地震が発生することを想定し、地域防災計画を見直すべきではないか

(2) 大規模災害時の市長の行動をどのように定めているのか

(3) 市の主要施設は、どの程度の停電時間に対応できるのか

7 新庁舎建設計画について

(1) 新庁舎建設の進捗状況はどうか、また、23年度策定する基本設計に議会や市民の声をどのように反映させるのか

(2) 新庁舎建設工事の発注方法について

8 農業振興について

- (1) 稲作の低コスト化と収穫作業における労力軽減を図るための、乾燥調製貯蔵施設の整備についてどのように考えているのか
- (2) 野菜や花卉の生産拡大に向け、県及びＪＡとどのような連携を図っているのか